

【観光遺産産業化ファンド】

株式会社阿納に対する投資実行について

～旅館統合プラットフォームの活用による民宿集積地域における宿泊再生モデルの創造～

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）は、株式会社観光産業化投資基盤を無限責任組合員とする「観光遺産産業化ファンド（以下「本ファンド」という。）」にて、本日、株式会社阿納（以下「当社」という。）への投資を実行しましたので、お知らせいたします。

なお、今回の投資実行は本ファンドの第14号案件となります。

機構は、2020年5月に観光庁主管の「旅館への投資の活性化による『負のスパイラルの解消』に向けた支援のあり方に関する分科会」（以下「本分科会」という。※1）に有識者として参画し、その検討成果を地域で検証するためのモデル第1号として、2021年11月12日に本ファンドを通じて、湯河原温泉の「旅館統合プラットフォーム」（以下「旅館統合PF」という。）である、「癒し場不動産株式会社」（※2）に投資を実行しました。

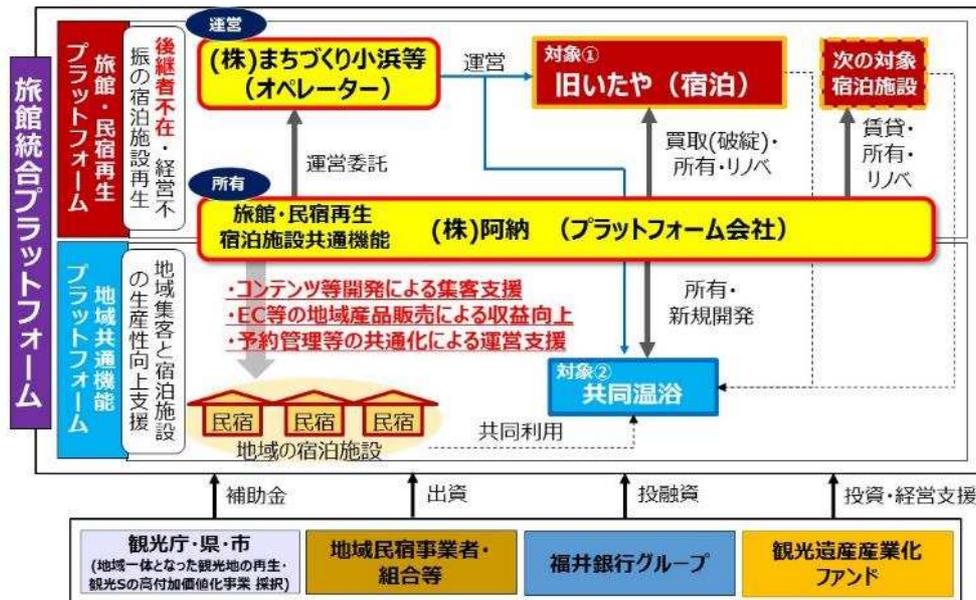
また、本分科会では、地方の旅館・民宿は、経営者の高齢化等による後継者不足でさらに廃業が進んでいるという現状も報告されました。当社は、本分科会を受けて、地方の民宿集積地域で加速度的に進んでいる事業承継問題の受け皿としてのモデル第2号となります。

当社は、小規模な民宿・旅館が集積する福井県小浜市阿納地区において、機構、福井銀行、福井キャピタル&コンサルティング、阿納地区の民宿・旅館事業者、まちづくり小浜（小浜市の観光地域づくり法人。以下「おばま観光局」という。）（※3）等とが民宿集積地域の事業承継という構造課題の解決に向け、検討を重ねた結果、「旅館統合PF」として設立されました。地域の廃業・廃業予定旅館を買取りまたは賃借して、観光庁の補助金も活用しながらリノベーションを行い、おばま観光局等に運営を委託していきます。

さらに、地域の観光事業者とも連携を図りながら、新たなサービスや観光コンテンツ等を開発し、同エリア全体の来訪客の増加と魅力向上に努め、面的再生を図ってまいります。

本ファンドは、今後も各地の地域事業者への出資や経営支援を行うことで、観光産業その他の地域産業の発達を促進し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

【全体スキーム図】



投資先の概要は以下のとおりです。

会社名	株式会社阿納
所在地	福井県小浜市
代表者	代表取締役 御子柴 北斗
事業内容	旅館不動産の取得・賃貸・改修

(※1)【旅館への投資の活性化による『負のスパイラルの解消』に向けた支援のあり方に関する分科会の概要】

https://www.mlit.go.jp/kankochu/news06_000471.html 観光庁ホームページをご参照ください。

(※2)【「癒し場不動産株式会社」に対する投資実行についての概要】

<http://www.revic.co.jp/pdf/news/2021/211222newsrelease.pdf> 機構ホームページをご参照ください。

(※3)【株式会社まちづくり小浜 おばま観光局の概要】

<https://obamakankokyoku.com/> おばま観光局ホームページをご参照ください。

【観光遺産産業化ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/36.html> 機構ホームページをご参照ください。

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構 <http://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

企画調整部: TEL 03-6266-0304

地域活性化支援本部: TEL 03-6266-0590